

楽楽館だより 第144号【令和元年6月度】

九州地方の大雨のニュースが続き、心配でしたね。降る時に降らないのも困りますが、降りすぎても困り、難しいものです。先日、ある福祉系学校の進路・就職担当の先生とお会いする機会がありました。その時「介護の仕事って、自分がお世話をしている、面倒を見ているという一方通行じゃないんですよね。人と人との関わりの中で、必ず介護者自身が力をもらっているはず」というお話がありました。日常に慣れてしまうとつい無意識になりがちですが、介護に携わる者として今一度、心に留めておきたいことでした。さて、6月も元気に過ごされたご利用者の皆様です。ご様子をお届けします。

◇ ～花菖蒲ツアー～◇

水元公園花菖蒲ツアー。今年は、初めて行かれる方と、希望された方をお連れしました。緑が多く水辺のためか、暑すぎることなくとても爽やかな陽気の中散策ができました。今回からは公園の駐車場を利用することとなり、歩行距離が長くなりましたが、本当によく歩かれました。車いすの方も「最後だけ少し歩いてみようかな」と、ご自分から意欲的な発言をされる方が多く、お体が万全でない中、ご立派だなと感じました。



◇ ～外食・外出のあれこれ～◇



6月も外食ツアーやお買い物ツアーなど外食・外出にお連れしています。外食ではいくつかのお店にお連れしますが、やはりお寿司は人気です。お帰りの時間になっても、「あ～今日は美味しかった！嬉しかった！またお願いしますね」とおっしゃるご利用者様の笑顔を見ると、お連れして良かったなとしみじみ感じます。お買い物ツアーでは、「一人暮らしだといつも決まったお店にしか行けず、同じものばかりになってしまう」という方が多く、普段買うことのできない商品を真剣に選ばれる姿が見られます。「ここへ行きたい」というご希望がありましたら検討させていただきますので、ぜひご提案下さいね。

◇ ～今月のナイスショット～◇



(写真左) パワリハスタジオに通っているご利用者様から、あじさいの折り紙を教えてくださいました。カエルやカタツムリも付け、とても可愛い作品となりました。

(写真右・上下) 「ちょっと貸して～！ こうした方がきれいになるんじゃないかしら！」「次はここを塗ったらいいよ」

館内では、日々ご利用者様同士の助け合いが見られます。人の役に立つこと、人とつながること、そのきっかけを提供することが、デイサービスの重要な役割のひとつです。

